

子どもたち あいどる	一五号	発行 社会福祉法人 路交館広報部 発行責任者 尾 埜 健 二 編集 集 あいどる編集委員会 〒533-0023 大阪市東淀川区東淡路2-7-5 TEL06-6321-3955 FAX06-6325-6320 ホームページアドレス https://www.rokoukan.or.jp 掲載の写真はアンケートに基づき掲載しています。
----------------------	------------	--



「共に生きる」社会のために

近畿地方では今年の梅雨明けは6月27日だったそうです。猛烈な暑さに、路交館の活動に連なる人々の体調を心配する毎日です。

路交館は日韓インクルーシブ交流と称して、ソウルで障がい児者の地域生活の支援に取り組む「木と果実」との間で職員の交換実習を行っています。今年は路交館から2名の職員がソウルに派遣され、1週間の実習を行いました。私も激励団としてソウルを訪問し、実習最終日の報告会では、2名の職員の様々な学びを「木と果実」の方たちと共に分かち合うことができました。

今回は初めてグループホームの職員が実習生として参加したこともあって、グループホームについての質問がたくさんありました。韓国の現状では、障がい者が家族に頼らずに地域で生きていくことは非常に難しいと言わざるをえません。日本も30年ほど前までは同じような状況でした。障がい者は家族(その多くは母親)

が年老いて支援・介護が難しくなると、生まれ育った地域を離れて人里離れた施設に入り、残りの人生はそこで終えるのです。

現在はどうか？決して十分とは言えませんが、両親や兄弟の力を借りずとも、グループホームやヘルパーを利用して地域社会で生活している障がい者が当たり前のように存在する世の中になってきました。そこ至ることができたのは、障がい当事者や障がい者の家族が、自分自身や、自分の子どもだけでなく、すべての障がい者が共に生きることのできる社会を目指して声を上げ続けてきたからです。「木と果実」は10年後、20年後に誰もが地域社会で共に生きることのできるソウルを、韓国を目指して声を上げ続けていくことでしょう。

私たちはどうか？私たちの暮らしが守られ、路交館の利用者が楽しく生活できていればそれでいいのか？その答えは、行動によってしか示すことはできません。

社会福祉法人 路交館 理事長 尾 埜 健 二

ういず守口

～毎年恒例行事『土居の夜店』に参加～

7/19(土)お祭り大好きなメンバーさん達が、待ちに待った「土居の夜店」が開催されました。

全員参加は出来ませんが、代表で参加したメンバーさん達が、暑い中「いらっしゃいませー！ポップコーンいかがですか？」と、お客様を見つめて元気に呼び込みをする声が響いていました。

土居の夜店メンバー委員7名が中心となり会議を重ね、話し合っ景品の買い出しに行ったり、周りのメンバーにも協力してもらって、景品の袋詰め・看板や景品箱を製作し、ういず守口メンバーが一丸となって盛り上げた「土居の夜店」となりました。

文責：生活介護 志智 啓介



ういず滝井

～夏祭り～

7月26日(土)に、土井商店街の夏祭りがありました。

ういず滝井では、メンバーの代表数名とスタッフで、ジュースとフランクフルトの店を出しました。

フランクフルトでは、ふつうのフランクフルトとハーブ入りの生フランクというのを販売しました。生フランクというのは限定販売だったりしたからか、暑い中でしたが、ジュース、フランク共に大盛況でした。

以前に働いていた人が顔を出してくれたり、いろんなメンバーさんが来てくれて、とても楽しい時間になりました。

文責：生活介護担当 西岡 祐樹



児童発達支援センター わかくさ 放課後等デイサービス ポプラ

～わかくさ祭りにおけて♪～

7/12(土)に『お祭りの景品を自分たちで買う』というのを目的に中高生が代表で松屋町商店街まで行きました。どこを見渡してもおもちゃでいっぱい自分が気に入ったものを手に取ったり遊んだり本来の目的を忘れてしまいそうでしたが、無事を選んで購入することができました！ポプラに残った小学生はお祭りでする屋台をどんなお店にするか考え、中高生が帰ってきたら活動報告会しました。「こんなものを買ってきたよ」「こんなお店がしたいと話したよ」とお互いに伝えあい、お祭りに向けて気持ちを盛り上げていきました。

文責：ポプラ担任 越後直之



桜の園

～地域と繋がる HOT な交流（お祭り）～

7月26日（土曜日）、桜の園「地域交流の夕べ」を開催いたしました。

この祭りでメンバーさんと地域の方が繋がる場所が桜の園でありたいと思うと同時に、地域の方向士が繋がる地域コミュニティの拠点として、桜の園が担っていくことができたらと思って開催しています。

そんなお祭りのステージでは、芦間高校のダンス部と淀川工科高校の吹奏楽部の皆さんが会場に花を添えてくださいました。その中でもメンバーさん達がダンス部の皆さんと一緒に「ジャンボリーミッキー」を、吹奏楽部の生演奏で「ヤングマン」のダンスをそれぞれにコラボさせてもらい、元気で楽しい姿を見てもらう事が出来ました。

吹奏楽部さんには、飛び込みで出演依頼したところ「地域なので行きますよ」と快諾していただきました。さらにさらに嬉しいことに、去年ダンス部の皆さんと一緒に踊った「ジャンボリーミッキー」を「今年も一緒に踊りましょう～」とのお誘いの言葉を頂きました。「これぞ！！地域と繋がることやな～」とグッときた言葉でした。

桜の園の熱い夏祭りをこれからも地域の方が「楽しみにしてるで～」と言ってくださる声にも応えていきたいと強く思った地域交流でした。

たくさんのボランティアの方、路交館の方々の応援でさらに盛り上がりました。

ありがとうございました。

文責：地域交流担当 谷 繭



幼保連携型認定こども園 北丘聖愛園

～北丘聖愛園 20周年記念の納涼会♪～

7月5日(土)に納涼会がありました。園と保護者の共催行事として、保護者主催のゲームコーナーや職員の飲食ブースなど準備してきました。また、今年度は北丘聖愛園が民間移管を受けて20周年を記念し、特別に職員が行う“人形劇”や“北丘グッズ”としてTシャツやトートバッグを販売しました。在園児の子どもたちは各クラスで制作したオリジナルのチケットを持って楽しんでいました。卒園児や地域の子どもの参加もあり、懐かしさや嬉しさを感じられる納涼会となりました。北丘グッズも職員の予想以上に人気で無事完売！改めて北丘聖愛園がたくさんの方たちに支えられているのだなと感じることができました。

文責：保育教諭 久留米 歩美



幼保連携型認定こども園 豊新聖愛園

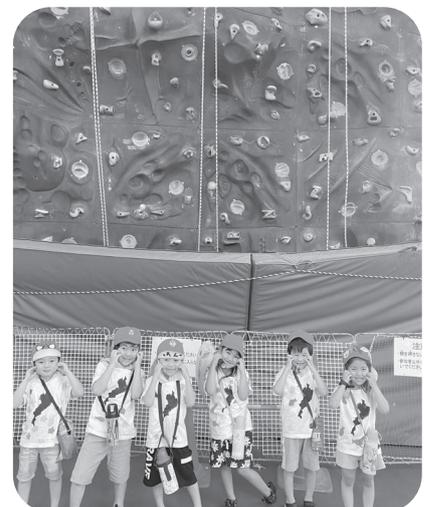
～ゆり(5歳児)びわこ一泊保育～

1日目は行き道から大雨だったのですが、雨にも負けないような元気さで室内スタンプラリーやコマづくりを楽しみました。夕方からは少し雨もやみ、かっぱを着て公園内を散策しました。雨上がりの草原にはたくさんのバッタが出てきて大盛り上がりでした。

2日目は朝からびわ湖へ入りに行きました。風が強かったため足だけだったのですが石投げや貝殻集め、ヤゴ探しなどびわ湖で出来る遊びを楽しんでいました。その後は、大型遊具で遊んだり、自分で作ったオリジナル虫かごを持って虫探しを楽しみました。

この2日間、一人ひとりが自分の役割に責任を持ち、どんな状況でも友だちと一緒に楽しむ姿に子どもたちの持っている力の強さを改めて感じる事が出来ました。

文責：ゆり担当 濱本あゆみ



幼保連携型認定こども園 聖愛園

6月27日、28日に園内一泊保育がありました。

当日に向けてクラスがより1つになれるように取り組みを行ったり、味見クッキングも3.4.5歳児全員で行いました！いずみさん(3歳児)も最初はドキドキしていましたが、イメージが膨らみ、ワクワクに変わっていったように思います。今年は例年と違い、ゆりさん(5歳児)が大人の役割をし、ひつじさん(4歳児)がおやつ作りをしました。今回の一泊保育を通して、みんなで泊まれた経験が一人ひとりに自信がついたように感じます。

この自信を次の行事であるうんどう会に繋げていきたいと思っています！



文責：保育教諭 岡 このみ



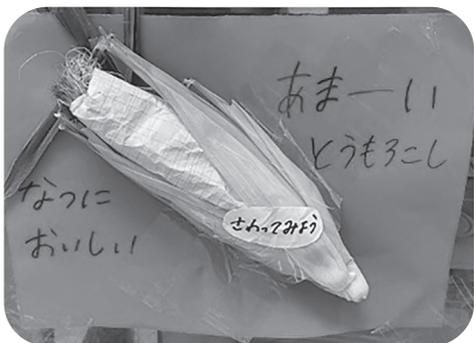
幼保連携型認定こども園聖愛園 給食室

～こんな食育活動をしています～

給食室では子どもたちに少しでも食に対して興味を持ってもらえるように様々な食育活動を行っています。7月8日(火)に行ったとうもろこしの皮むきでは、ひつじさん(4歳児)がおともだちと協力して、たくさんのとうもろこしをむいてくれました！

においや色など子どもたちに見て触って食べてもらい五感を刺激するような食育を行っています。また、食育活動をしていないクラスの子どもたちにも食について少しでも楽しく知ってもらえるように給食室の窓に、食育活動で使った食材を使い、触って見て楽しんでもらえる食育ポスターを設置しています。これからも美味しく楽しい給食を作っていくように頑張ります！

文責：栄養士 長谷川 鈴



♪ あしおと ♪

聖愛園・あすなろ・地域子育て支援センター

10月19日(日) うんどう会(聖愛園)
 10月31日(金) おうちハロウィン(あすなろ)
 11月8日(土) おまつりごっこ(どんぐり)
 11月21日(金) すずらんヨガ講座(地子セ)
 12月12日(金) せいかつ発表会(聖愛園)
 12月19日(金) クリスマス会(聖愛園)
 12月24日(水) おうちクリスマス会(あすなろ)

東淡路子ども館

10月26日(日) 東淡路子ども館うんどう会
 12月20日(土) つくしフェスタ

北丘聖愛園

10月25日(土) うんどう会
 12月13日(土) 発表会

豊新聖愛園

10月12日(日) うんどう会
 12月6日(土) 生活発表会

わかくさ

10月11日(土)～12日(日) ポプラキャンプ

ういず守口・ういず滝井

9月5日(金)～9月6日(土) ういず守口メンバー旅行
 9月19日(金)～9月20日(土) ういず滝井メンバー旅行
 10月11日(土) ボランティアフェア
 10月25日(土) 第6回 エイブルアート展
 11月2日(日) 守口市民祭り
 11月14日(金) ういず守口・ういず滝井・ういずらふ運動会
 12月5日(金)～12月8日(月) ノーマライゼーション絵画・創作展

桜の園

10月14日(水)～10月15日(木) メンバー旅行(前半組)
 10月27日(月)～10月28日(火) メンバー旅行(後半組)
 10月中旬～12月上旬 地域の小学校で花交流
 11月2日(日) 守口市民祭り
 12月5日(金)～12月8日(月) 絵画展創作展

ウィリッシュ・ほっとコミュニティういる

11月8日(土) 秋フェス・わっしょい祭り
 11月24日(祝) 東淀川区民まつり

★寄附のお願い

社会福祉法人路交館では、当法人の活動にご賛同・ご支援いただける法人・団体・個人の皆様からのご寄附の協力をお願いしています。

お寄せいただいた寄附金は、利用児者皆様への更なるサービスの充実、各施設の施設・設備整備等に使用させていただきます。

皆様からの温かいご支援・ご援助を心からお願い申し上げます。

★郵便振替(寄附金の振込先)

振替口座：00980—3—314818

加入者名：社会福祉法人路交館

《同封の払込取扱票をご利用ください》

★銀行振込(寄附金の振込先)

【金融機関名】三菱UFJ銀行 淡路支店

【口座番号】普通預金 499499

【振込先名義】社会福祉法人路交館

●銀行振込の場合、お手数ですが、寄附申込書を電子メール、または郵送でお送りください。入金確認後、領収書を発送いたします。【メールアドレス：soumu@rokoukan.or.jp】

●当法人は税額控除対象法人ですので、ご寄附いただいた方が確定申告される際、「所得控除」ではなく「税額控除」で申請することも可能です。

◎所得控除

(所得金額－所得控除額※1) × 税率 = 控除後税額

※1 社会福祉法人等に対してその年中に支払った寄付金の合計額から 2,000 円をひいたもの

◎税額控除

税額－税額控除額※2 = 控除後税額

※2 (税額控除対象寄付金－2,000 円) × 40% = 控除額

幼保連携型認定こども園 豊新聖愛園

赤い羽根共同募金の助成金で 約20年使用していた食器乾燥機・食器洗浄機を新しく購入することができました。

共同募金にご協力いただきました府民の皆様には感謝いたします。

ありがとうございました。



編集後記

夏の暑さも日に日に増してきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

暑い日もまだまだ続くかと予想されますので熱中症対策を行い乗り切りましょう。

今号も最後までご愛読ありがとうございました。

編集担当：淡路障がい者系 折田・山路 GH 今西・宍並